

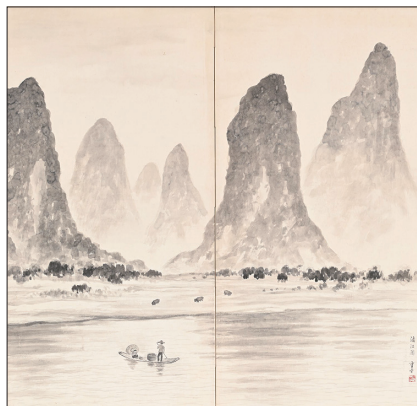
作者の大野重幸（1900-1988）は本市出身の日本画家で、山内多門や川合玉堂に師事し、院展で活躍。柔らかな画風で、風景や動物など自然の美しさを描いた作品を残しています。

重幸が1980年に中国の桂林・杭州を旅行した際のスケッチを基に制作されたと伝えられている本作。筆の運びが分かるようなおおらかな筆致には洒脱な趣があり、地平線を低い位置で捉え、空を大きく描いた構図からは、ゆったりとした空間の広がりを感じられます。水面には山の影が映り、ゆらゆらと揺れる水の輝きが巧みに表現されていて、涼しげな風情が漂う作品です。

※本作は、7月8日(火)から開催する収蔵作品展夏休み企画〈入門〉アートの疑問「くらべる美術」に展示予定

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

けいりん りこうず
「桂林漓江図」
大野 重幸 作 （制作年不詳）



| History exploration |

歴史探訪！

まわたり
馬渡遺跡出土の石鏝（南横市町）

石鏝は、古代の官人が身に付けていた帯に取り付ける石の飾りです。馬渡遺跡の発掘調査で出土した石鏝は、淡い緑色の石材を加工したもので、半円形の「丸軀」と呼ばれる形状をしています。表面は丁寧に研磨され光沢があり、裏面には帯に取り付けるための潜り穴が空けられています。

平安時代中期に編さんされた「延喜式」によると、石鏝の素材や色は身分による制限があり、六位以下の官人は黒色の帯飾りしか許されず、白玉やメノウなどの高級素材は三位以上の高位貴族に限られていたとされています。しかし、当時の都である平安京跡からは、緑色系や白色の石鏝が多く出土していて、実際には制度上の規定との間に差があったことが明らかになっています。これらの状況は、服飾制度の規範が時代とともに形骸化したことを示しているという見方があり、本資料はこのような時代に伴う変化の一端を示す貴重な資料です。

※本資料は、都城歴史資料館常設展で展示中



表面



裏面

出土した石鏝



石鏝の装着イメージ

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

あずまきこう
東北を旅した記録「東紀行」

「天下泰平の世」といわれ、260年以上にわたり戦争がなかった江戸時代（1603-1868）。人々の生活は安定し、文化的にも大きく発展しました。

寛政10（1798）年、都城で編さんされた「庄内地理志」には、同時期に江戸幕府が編さんした「新編武蔵風土記稿」と同様に、地域の地理や歴史が詳細に収録されています。

こうした江戸と都城のつながりを示すのが「東紀行」です。巻末に「時に寛政三亥秋、薩摩領日向の産、江戸浪人神昌平坂（神田昌平坂）居住北郷新太郎藤原資清」とあることから、寛政3（1791）年の秋に北郷資清が記したことが分かります。本史料によると、資清は寛政2（1790）年から3年間、江戸昌平坂学問所の林信敬に入門。その勧めに従って東北を訪ね、数多くの名所旧跡を視察しました。

帰郷した資清は家老に就任。庄内地理志の編さんを指導しました。資清の江戸での経験が地域文化の発展に大きく寄与したことが分かる貴重な史料です。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116



作業現場の様子

工作機械の性能を最大限に引き出す「裏方」として、長年にわたり日本の製造業を支えるブンリ工業株式会社。平成3年に高城工場を開設した同社は、金属の切削加工時に冷却などを行うクーラント液から切粉を排出するろ過装置の専門メーカーとして、独自の地位を確立しています。「派手さはないが、工作機械の腎臓的な存在として誇りを持っている」と話すのは、田代誠代表取締役社長。同社は、118人の社員を擁し、開発・設計から製造、販売、アフターフォローまでの一貫体制を構築。オンリー

ワンの製品開発にこだわり、品質・性能・製品ラインナップ・先進性・環境・社内体制・サポート力の7つを重視して事業を展開しています。また、環境に配慮した製品づくりにも重きを置く同社。装置で利用する電動機を小型化するなどCO₂削減を意識した製品開発により、カーボンニュートラル推進にも大きく貢献しています。

「顧客にも社員にも必要とされる会社であり続けたい」と語る田代社長。社員を大切にすることも特徴的で、過去5年の男性育休取得率100割（平均休業期間1カ月、延べ20人取得）、前年度の有給休暇取得率90割以上を実現しています。

「損得ではなく善悪で判断する」という姿勢を貫き、顧客の困りごとを解決に導いてきた同社。これからも売る人、買う人、世間の三方良しの精神に徹し、確かな技術と誠実な対応で、信頼の輪を広げていきます。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.58

ブンリ工業株式会社

☎ 58-5678



田代誠代表取締役社長

今月の読者プレゼント



シェン
Chez kenランチペアチケット 3組

プレゼント提供事業者

ブランドウ シャトー
Blanc de chateau Chez ken (横市町6500-5) ☎46-3770

宮田シェフが手がける日本人の味覚に合うフランス料理を堪能できる同店。3カ月ごとに変わる季節のメニューと、一人一人への心配りが魅力です。旬の地元食材を生かしたフレンチを、大切な人とお楽しみください。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、7月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 7月31日（木） 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙9月号
- ◎5月号当選者 せっちゃんさん ほか4人
- ◎5月号応募総数 96通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

お待ちしております／ 読者のお便り

郵便はがきにこの面を貼り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

氏名
フリガナ
ペンネームまたはイニシャル
郵便番号
住所
電話番号

点線に沿ってお切りください

私の夢

阿多 克斗さん 有水小6年

心を込めた料理で
日本中の人を幸せにしたい



都 城 市 現 住 人 口				
	令和7年6月1日現在	前 月 比	前 年 比	
世 帯 数	73,947世帯	21	329	
人口総数	159,013人	-85	-633	
男 性	74,905人	-25	-268	
女 性	84,108人	-60	-365	

※令和2年国勢調査に基づく推計人口



「薩摩古道」(山之口町山之口)

編集後記

自宅から金田町方面へ向かう、何十年と通い慣れた道。頭上では真新しい都城志布志道路を車がひっきりなしに走る風景に変わり、初めて目にした時は感動すら覚えました。道路開通がもたらす地域の変化と発展を感じながら、いつも見上げています。(直)

暑い季節にぴったりな、メキシコ料理のタコス作りに挑戦。豚塊肉をじっくり煮込み、ピーマンやきゅうりでサルサソースを作ります。欠かせないのがパクチーとライム。爽やかさとパンチのある味に病みつきで、この夏の定番料理になりそうです。(茉)

都城フィロソフィ⑨

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第1部 素晴らしい人生を送るために

第3章 熱意を持って、地道に努力を続ける

地道に努力を積み重ね、真面目に一生懸命仕事に打ち込む

大きな夢や目標を持つことは、人生において非常に大切なことです。

大きな夢や目標を実現するためには、地道に努力を一つ一つ積み重ねることが大切ですが、その際には、気の遠くなるほどの忍耐が必要です。また、目標と現実のギャップに思い悩むことがあるかもしれません。

しかし、努力なくして成功はないことを認識し、苦しいときやつらいときにこそ、誰にも負けない努力を積み重ねなければなりません。

常に謙虚で勤勉かつ誠実に努力を積み重ね、一生懸命に物事に打ち込んだ結果として、何かを成し遂げたときに、何ものにも代え難い喜びが得られるのです。

届けたい都城の風景

例年になく早い梅雨入りとなり、どんよりとした日が続いていた6月半ば。珍しく太陽が顔を出したタイミングで、ここぞとばかりに薩摩古道へ撮影に向かいました。本号が発行する頃には訪れているであろう本格的な夏。その暑さをひとときでも忘れさせてくれるような1枚になればと思いながら、まばゆい緑の中でシャッターを切りました。

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ28～200mm・F2.8-5.6、1/100秒 F5.6 焦点距離57mm ISO 4000



自然を体感できるキャンプ
フィールド
令和6年4月に「スノーピーク都城キャンプフィールド」としてリニューアルオープンした関之尾公園。豊かな自然を楽しめる本公園には、100区画ものキャンプサイトが整備され、世界的に著名な建築家の隈研吾氏と共同開発したモバイルハウス「住箱-jyubako-」や、深緑の景色と関之尾の斷穴が眼前に広がる眺望を生かしたコテージも設置されています。



迫力満点の滝とくつろぎの空間
本公園の最大の魅力は「日本の滝100選」に選ばれた関之尾滝です。幅40㍎、高さ18㍎におよぶ滝が轟音を響かせて流れ落ちる様は迫力満点。滝を間近で見ることが出来る吊り橋からは、水しぶきや美しい景観を存分に体感できます。
キャンプを楽しむだけではなく、日帰りで散策などが楽しめるのも魅力の一つ。地元食材を生かした料理を提供するレストランやカフェも併設されていて、キャンプをしない人でも、気軽に立ち寄って食事やくつろぎの時間を過ごせます。
夏休みに家族や友人と自然の中で思い出に残る時間を過ごしてみませんか。リニューアルした関之尾公園で、都城の豊かな自然と新しい魅力をぜひ体験してください。



観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、市内で楽しめる場所・モノ・コトを紹介!

関之尾公園で幸せ上々

◎問い合わせ
みやこんじょ PR課 ☎23-2615

新刊紹介

おすすめ図書

◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224

ガマ千びき イワナ千びき



ガマ千びき イワナ千びき

最上一平(文)、ザ・キャビンカンパニー(絵)、文溪堂(出版)

何回落ちても滝登りに挑戦するイワナ。見守るガマは、そのひたむきな姿にだんだん心引かれていきます。ある大嵐の日、ついに滝を登ったイワナを見て、ガマが取った行動は？

科学メガネ読本



科学メガネ読本

池内了(著)、KTC中央出版(出版)

うまいものは別腹って本当? 宇宙人が地球にこない理由は? 宇宙物理学者の著者が、身近な生き物の謎から宇宙の不思議まで、日常を科学的な視点で考察した1冊です。

【市立図書館】 ●休館日/なし
●開館時間/ 9:00~21:00

【高城図書館】 ●休館日/7月1日・8日・15日・20日~22日
29日、8月5日・11日・12日
●開館時間/ 9:30~18:00

今月のみやこんじょ弁



よんごひんご

曲がりくねる

背景

「よんご」は「横」という意味。強調する接尾語の「ひんご」がつくことで、曲がりくねった様子を指す。
※方言は市内でも地域や年齢によって異なります
参考文献 瀬戸山計佐儀著「都城さつま方言辞典」

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

写真: 田植えを体験する江平小児童(高崎町)